

平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月29日

上場会社名 ダイソーケミックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4366 URL <https://www.daitochemix.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 永松 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部、QA・RC部担当 (氏名) 南 修一 (TEL)06(6911)9310
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 平成30年12月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	5,994	△2.4	299	△44.8	298	△45.3	248	△48.9
30年3月期第2四半期	6,142	3.2	542	△12.6	545	△2.5	487	0.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 211百万円(△69.4%) 30年3月期第2四半期 691百万円(21.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	23 17	—
30年3月期第2四半期	45 36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	16,418	10,857	66.1
30年3月期	16,550	10,721	64.8

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 10,857百万円 30年3月期 10,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	5 00	—	7 00	12 00
31年3月期	—	5 00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	5 00	10 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	3.9	800	△30.0	800	△31.9	750	△36.8	69 86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
 (注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	11,200,000株	30年3月期	11,200,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	464,255株	30年3月期	464,255株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	10,735,745株	30年3月期2Q	10,736,684株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用所得環境などの改善を背景に緩やかな回復基調にあるものの、海外における貿易摩擦、国内における相次ぐ自然災害の影響、原材料費や人件費の上昇などの懸念材料もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社グループは、営業活動や生産性向上に全力をあげるとともに、先端の電子材料、イメージング材料、医薬中間体の新製品開発、廃棄物処理、リサイクルの特殊技術開発などに積極的に取り組みましたが、化成品事業において電子材料およびイメージング材料の需要が低迷したことにより、売上高は減少いたしました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は59億94百万円（前年同四半期比2.4%減）、経常利益は2億98百万円（前年同四半期比45.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億48百万円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前期末比1億32百万円減の164億18百万円となりました。流動資産は前期末比7億2百万円減の79億66百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少6億68百万円であります。固定資産は前期末比5億70百万円増の84億51百万円となりました。主な要因は、投資有価証券の増加4億84百万円であります。

負債合計は前期末比2億68百万円減の55億60百万円となりました。主な要因は、未払金の減少3億91百万円であります。

純資産は前期末比1億36百万円増の108億57百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加1億73百万円あります。

これにより自己資本比率は66.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月10日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,209	1,540
受取手形及び売掛金	2,795	2,980
商品及び製品	904	637
仕掛品	1,562	1,539
原材料及び貯蔵品	904	1,207
未収入金	255	25
その他	38	36
流動資産合計	8,669	7,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,443	1,385
機械装置及び運搬具(純額)	609	593
土地	2,876	2,876
その他(純額)	347	552
有形固定資産合計	5,275	5,407
無形固定資産	285	266
投資その他の資産		
投資有価証券	1,979	2,463
その他	340	313
投資その他の資産合計	2,319	2,777
固定資産合計	7,881	8,451
資産合計	16,550	16,418
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,011	975
短期借入金	250	250
1年内償還予定の社債	147	189
1年内返済予定の長期借入金	986	761
未払法人税等	113	90
賞与引当金	306	281
役員賞与引当金	39	7
未払金	827	436
その他	161	219
流動負債合計	3,844	3,211
固定負債		
社債	745	930
長期借入金	1,118	1,307
退職給付に係る負債	15	13
その他	104	98
固定負債合計	1,984	2,349
負債合計	5,829	5,560

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,901	2,901
資本剰余金	4,421	4,421
利益剰余金	2,880	3,054
自己株式	△248	△248
株主資本合計	9,954	10,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	614	608
為替換算調整勘定	152	120
その他の包括利益累計額合計	767	729
純資産合計	10,721	10,857
負債純資産合計	16,550	16,418

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	6,142	5,994
売上原価	5,130	5,172
売上総利益	1,011	822
販売費及び一般管理費	468	522
営業利益	542	299
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	14	18
不動産賃貸料	8	7
持分法による投資利益	0	2
雑収入	14	9
営業外収益合計	38	37
営業外費用		
支払利息	11	10
社債発行費	10	7
為替差損	1	13
雑損失	11	8
営業外費用合計	35	38
経常利益	545	298
特別利益		
固定資産売却益	16	—
未払金取崩益	—	20
特別利益合計	16	20
税金等調整前四半期純利益	561	318
法人税等	74	69
四半期純利益	487	248
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	487	248
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	199	△5
繰延ヘッジ損益	0	—
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△31
その他の包括利益合計	204	△37
四半期包括利益	691	211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	691	211
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(持分法適用関連会社による株主割当増資)

平成30年8月28日開催の当社取締役会にて、持分法適用関連会社でありますDAITO-KISCO Corporationの株主割当増資の引受けを決議致しました。

なお、当該株主割当増資の払込は、2回に分割して行うこととしており、1回目は平成30年9月27日に完了しており、2回目は平成31年3月14日を予定しております。

DAITO-KISCO Corporationの株主割当増資の内容

- (1) 増資総額：200億ウォン
- (2) 当社払込額：100億ウォン（増資総額の50%）
- (3) 増資後資本金：100億ウォン（増資前資本金：80億ウォン）
- (4) 増資後出資比率：ダイソーケミックス株式会社 50%
京仁洋行株式会社 50%
- (5) 増資の目的：韓国益山市 新工場建設資金（平成31年11月完成予定）

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	5,440	701	6,142
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	33	33
計	5,440	735	6,175
セグメント利益	418	117	536

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	536
セグメント間取引消去	5
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	542

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成30年4月1日 至平成30年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	化成品事業	環境関連事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	5,275	718	5,994
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	28	28
計	5,275	747	6,023
セグメント利益	188	102	291

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	291
セグメント間取引消去	7
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	299

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。